

論点1：支援ワンストップ化・手続き簡素化について

支援へのアプローチを容易とするために、手続面での課題の整理、簡略化も必要である。

(対応する取組)

- 内閣府「地域子供の未来応援交付金」の子供等支援事業（自治体内部の教育部門と福祉部門の連携、民間団体との連携、研修の実施）
- 厚労省「母子・父子自立支援等による相談支援体制の実態に関する調査研究」
- 厚労省「ひとり親家庭等に対するワンストップ相談体制強化事業」
- 文科省「高等学校等就学支援金における申請手続き等の見直し」
- 文科省「高等教育の修学支援新制度における必要書類の一部廃止」

(昨年の評価者・参考人からの主な指摘事項)

- 未だに多くの自治体で、窓口が一本化されていない。自治体間の対応のばらつきが大きい。
- 各種制度が複雑で手続きも煩雑であり、簡素化が必要
- 利用者が必要な支援に辿り着くためのICTツールの開発、SNSの活用が必要
- 自治体内の教育部門と福祉部門の連携が必ずしもうまくいっていない（部署を統合するなどの組織改編が必要）
- 子ども貧困大綱に関して、計画策定市町村をさらに広げてゆくべき

論点2：プッシュ型支援について

各地方公共団体における福祉部局と教育部局の連携強化・一体的体制の構築、個人情報保護条例の改正や運用の見直し等により、情報の一元化や連携を可能とし、支援を必要とする人及びその予備軍の状況を適時・的確に把握を進めることが重要である。

(対応する取組)

- 内閣府「地域子供の未来応援交付金」の実態調査・計画策定（実態調査・資源量の把握、支援体制の整備計画策定）
- 厚労省「ひとり親家庭に対する相談支援体制強化事業」

(昨年の評価者・参考人からの主な指摘事項)

- 個人情報を自治体内で共有化するために、個人情報の目的外使用や実施機関・利用機関間の壁を乗り越える必要がある
- 個人情報を自治体内だけでなく、自治体間、基礎自治体・都道府県・国との間の壁を乗り越える必要がある（例えば、高校生の情報や自治体間を移動する家庭の子供）
- 要対協などでは、個人情報の民間の支援者とのやり取りも必要
- 自治体の体制整備のためのさらなる国からの財源拡充が必要
- 利用者や支援者が活用しやすいSNSの活用やICTツールによる支援が必要
- 足立区や箕面市のベストプラクティスの横展開、あるいは研修後に自治体で取り組みが広がらない組織内のボトルネックの洗い出し作業、実態調査が必要
- 民間の支援者の活用がもっと必要

論点3：学習支援の充実

国においては、子供に対する直接支援や学校外教育クーポンの制度化などの提案を踏まえ、**貧困の連鎖を断ち切る教育を実現するための学習支援のさらなる充実に向けた検討を行うべきである。**

(対応する取組)

- 内閣府「地域子供の未来応援交付金」のつながりの場づくり緊急支援事業（学習教室など）
- 文科省「地域と学校の連携・協働体制構築事業」
- 文科省「地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業」

(昨年の評価者・参考人からの主な指摘事項)

- 予算の拡充や国の補助率引き上げが必要
- 子どもへの支出が直接増えるために、教育バウチャー・クーポンなどが必要
- 文化・スポーツ・体験活動の支援が必要
- 生活保護世帯の学生が大学進学する際に、世帯分離しなければならない問題を解決すべき
- 中退者、高等学校の学生への支援が必要
- 学校外教育の必要性
- コロナ禍の対応の必要性

論点4：現場のマンパワー拡充と雇用の安定化

それぞれの現場における支援を担う人的資源の拡充や雇用の安定化（職員のキャリアアップへの配慮やNPO等の積極的活用を含む。）のための施策を進めていく必要もある。

（対応する取組）

- 内閣府「地域子供の未来応援交付金」のつながりの場づくり緊急支援事業
- 厚労省「ひとり親家庭への支援体制の強化等について」の自治体宛の通知の発出
- 厚労省「全国ひとり親家庭支援者等会議」
- 厚労省「母子・父子支援員の処遇改善等に関するアンケート調査」
- 文科省「スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる教育相談体制の充実」

（昨年の評価者・参考人からの主な指摘事項）

- 母子・父子支援員の雇いを安定化させるために処遇改善、キャリアアップの仕組みが必要
- 母子・父子支援員が長く利用者に寄り添える雇用形態、人事配置が重要
- 母子・父子支援員のICTやデジタル活用について研修が必要
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーについても同様の問題がある

論点5：それ以外の論点

(対応する取組)

- 文科省「不登校児童生徒に対する支援推進事業」

(昨年の評価者・参考人からの主な指摘事項)

- 養育費についてきちんととれる仕組みや手続きの簡素化・迅速化が必要
- コロナ禍の中での支援をどうするか